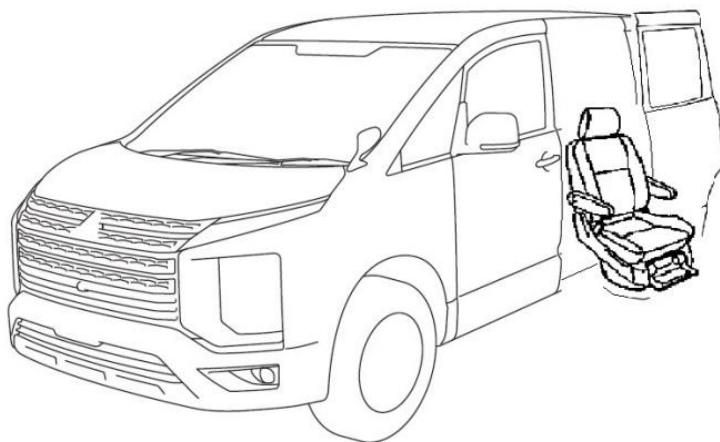


DELICA D:5

サイドムービングシート仕様車取扱説明書



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

サイドムービングシート仕様車取扱説明書

このたびはデリカD:5 サイドムービングシート仕様車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は『サイドムービングシート』専用の装備に関する取り扱いについて説明してあります。『サイドムービングシート』専用装備以外の取り扱いについては、「標準車取扱説明書」で説明しています。

ご使用前にこの取扱説明書および「標準車取扱説明書」を必ずお読みください。

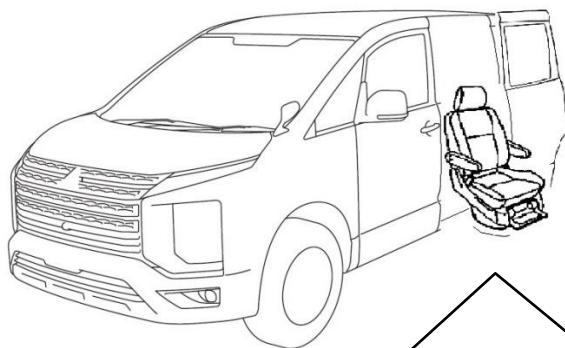
- この取扱説明書に説明されていること以外の取り扱いを行いますと、装備の性能を確保できないばかりでなく、ケガや車両の破損、装備の故障につながる場合があります。
- 「警告」、「注意」は特に重要です。よく読んで守ってください。
守らないと身体への危害や車の破損につながる恐れがあります。
- この取扱説明書の中に使用されているマークと意味は下記のようになっています。

 警告	記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。 お守りいただかないとお客様自身と周囲の人々が死亡または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
 注意	記載事項を守らないと、傷害、事故につながるおそれがあること。 お守りいただかないと車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
 ア ド バ イ ス	お車のために守っていただきたいこと。 知っておくと便利なこと。

- 取扱説明書は、お車の中に保管して下さい。
- お車を譲られる際は、本書も一緒にお譲りください。
- ご不明な点は、お近くの三菱自動車販売店にお尋ねください。

1.各部の名称	1
2.取り扱い上の注意	2
3.操作上の注意	5
4.サイドムービングシートの調整	7
■ 前後位置調整	8
■ リクライニング調整	8
■ ヘッドレスト上下位置調整	9
■ フットレスト	9
■ アームレスト	10
■ シートベルト	10
5.正しい乗車姿勢	11
6.ワイヤレスリモコン	12
7.サイドムービングシートの操作のしかた	15
■ サイドムービングシートを操作する前に	15
■ サイドムービングシートを車外に出すときは	16
■ サイドムービングシートを車内にもどすときは	19
■ シートムービングスイッチによる操作のしかた	22
8.車いすの収納のしかた	23
■ 荷室に収納可能な車いすのサイズの目安	23
9.車いす固定ベルト	24
■ 車いす固定ベルトの取り付けかた	24
■ 車いすの固定のしかた	26
10.架装オプション	28
■ 胸部固定ベルト	28
11.点検・整備	29
■ ヒューズの交換	29
■ 定期点検整備	30
12.万一のとき	31
■ 故障かな？とお考えになる前に（サイドムービングシート）	31
■ サイドムービングシートが車外に出た状態で動かないとき	32
■ 使用工具	32
■ スイッチを押すと、サイドムービングシートが動くとき	33
■ スイッチを押すとブザーは鳴るがサイドムービングシートが動かないとき	35
■ スイッチを押してもブザーが鳴らずサイドムービングシートも動かないとき	38
■ 故障かな？とお考えになる前に（ワイヤレスリモコン）	39
■ ワイヤレスリモコンの電池交換	40
13.お手入れ	42
■ シート地・胸部固定ベルト	42
■ 樹脂カバー	42

1.各部の名称



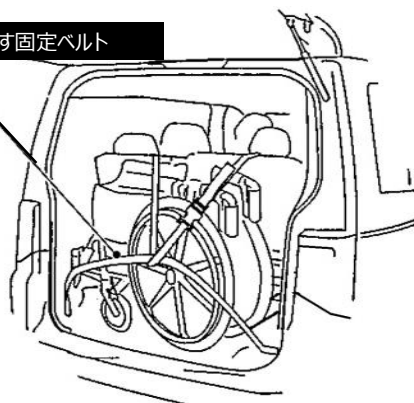
サイドムービングシート



ワイヤレスリモコン

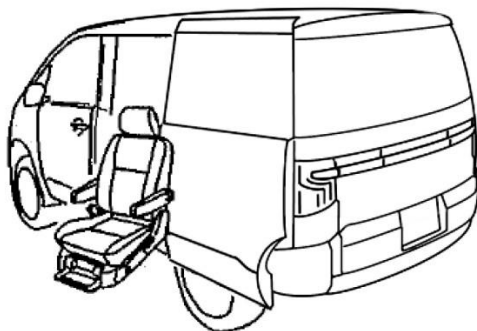


車いす固定ベルト

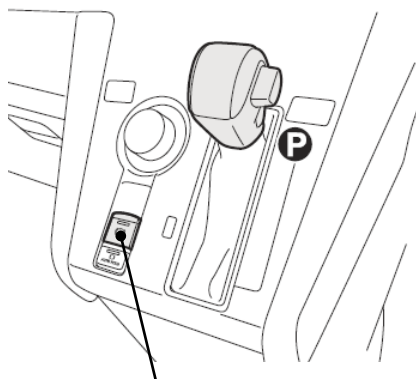


2. 取り扱い上の注意

⚠ 警告



- サイドムービングシートの操作は必ず平坦な場所で行ってください。
不整地や傾斜地では、車両や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

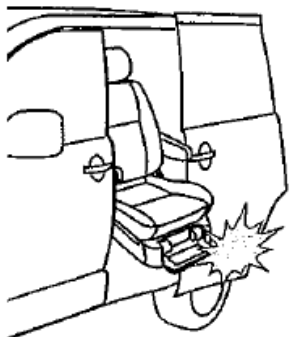


パーキングブレーキ

- サイドムービングシートを回転・昇降するときは、安全のためパーキングブレーキを確実にかけて、セレクトレバーを **P** の位置にして、**必ずエンジン** を止めてください。

2. 取り扱い上の注意

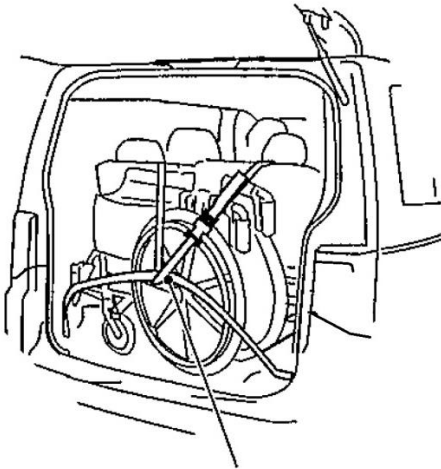
⚠ 警告



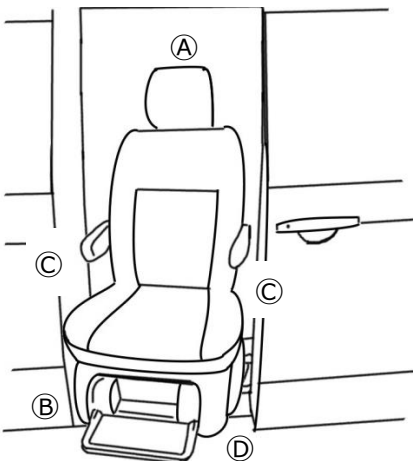
- 助手席側スライドドアを全開にしてください。
全開にしないとサイドムービングシート操作時、サイドムービングシートに乗車の方の足がスライドドアと接触し、けがをするおそれがあります。
また、フットレストとドアトリムが干渉し、損傷するおそれがあります。
- サイドムービングシートには、チャイルドシートを取り付けしないでください。
このシートでチャイルドシートを使用することはできません。
- 正しい姿勢で乗車ください。
(⇒P.11)
- 乗員の体について十分な安全確認をしてください。
サイドムービングシートを回転・昇降させるときに、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - 次のことに注意してください。
 - ① スライドドア開口部と頭部の接触に注意してください。
 - ② センターピラーに足をぶつけないように注意してください。
 - ③ スライドドア開口部とサイドムービングシートの隙間に挟まれないように注意してください。
 - ④ スライドドアと足の接触に注意してください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- サイドムービングシートを車外に出すときは、歩行者や自転車の有無など周囲の安全を確認してから操作してください。

2. 取り扱い上の注意

警告



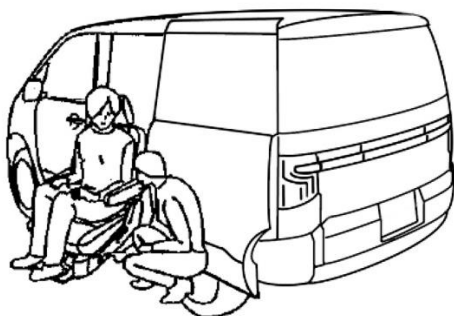
車いす固定ベルト



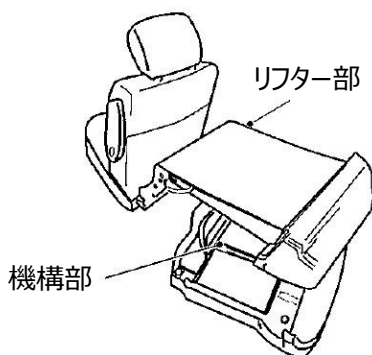
- 2列目右側席、3列目の席にお子様を乗せているときは、不意の動作に注意してください。
- エンジンを止めた状態でサイドムービングシートを長時間操作し続けるとバッテリーが上がる原因になりますので注意してください。
- 車いすを車載する場合は、必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ベルトで固定してください。車いすがしっかり固定できていないと走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- このサイドムービングシート最大回転、昇降能力は、100kgです。これを超えた状態での回転、昇降操作は、破損の原因となります。
- 車いす固定ベルトは、サードシートのうしろ側にあることを確認してください。車いす固定ベルトがサードシートの前側にある場合、サードシートに乗車の方の体に巻きつき、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

3.操作上の注意

⚠ 警告



- 回転、昇降操作は介護する人が行ってください。
サイドムービングシートに乗車している方が操作すると、手や腕などをはさんだりぶついたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
また、お子様には操作させないでください。



【室内視】

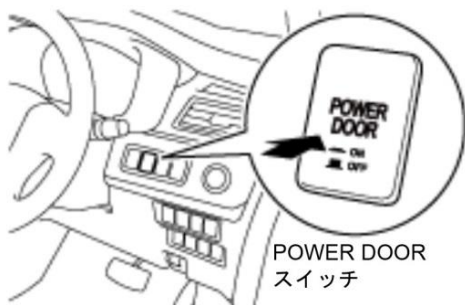
- 回転、昇降時はリフター部に乘ったり機構部に触ったりしないでください。またシートの下および周辺に手足や荷物をいれないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれや荷物を損傷するおそれがあります。

⚠ 注意

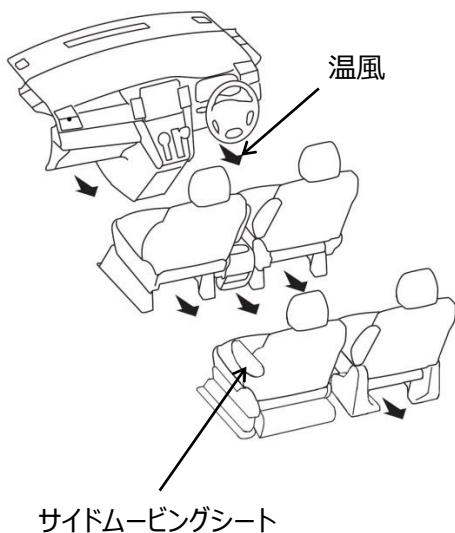
- サイドムービングシートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
 - ・サイドムービングシートを操作する前に、サイドムービングシート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
 - ・回転、昇降操作をする前にシートベルトがはずれていることを確認してください。

3.操作上の注意

ア ド バ イ ス



- 電動スライドドアにおいてPOWER DOORスイッチが“ON”のときでも、サイドムービングシートが格納位置以外の場合は助手席側電動スライドドアを閉めようとしても“ピーピーピーピー”とブザーが鳴り作動しません。



- リヤヒーターについて、サイドムービングシート下から温風が出ないため、3列目左側シートに乗車の方の足元が、暖まりにくくなります。

4. サイドムービングシートの調整



ア ド バ イ ス

- 作動条件について

- サイドムービングシートが車内に正常格納されている状態以外では、前後位置調整・リクライニング調整はできません。



警 告

- リクライニング調整について

- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。
事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部など強い圧迫を受けるなど、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



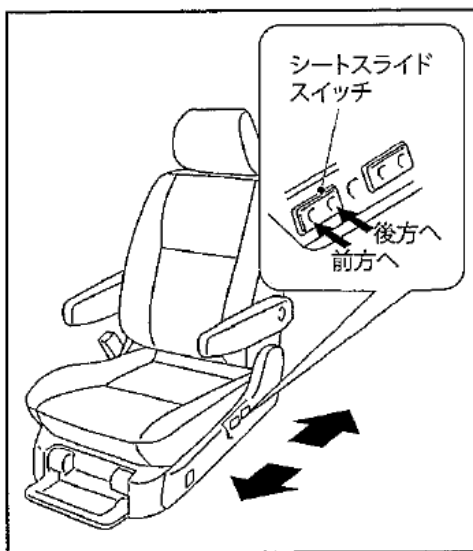
注 意

- 故障・破損を防ぐために

- 前後位置調整・リクライニング調整の作動が完了したらスイッチから指を離してください。
スイッチを押し続けると故障の原因になります。

4. サイドムービングシートの調整

■ 前後位置調整



- シートスライドスイッチの押している間、サイドムービングシートが前後に動きます。
- スイッチから指を離すとサイドムービングシートはその位置でとまります。

アドバイス

- サイドムービングシートの作動開始位置から前方に90mm移動することができます。
- サイドムービングシートが車外に出た状態でシートスライドスイッチを操作しても、サイドムービングシートは動きません。

■ リクライニング調整



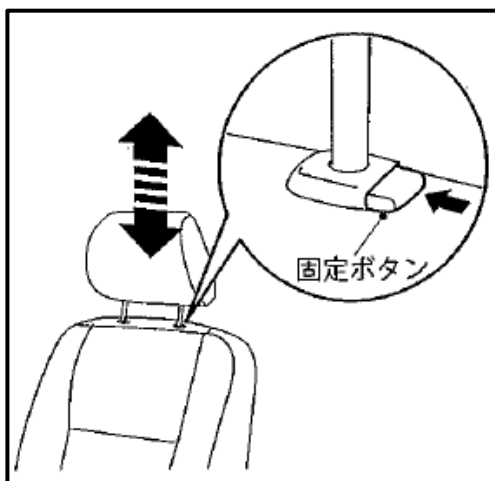
- リクライニングスイッチを押している間背もたれが前後に動きます。
- スイッチから指を離すとサイドムービングシートはその位置で止まります。

アドバイス

- サイドムービングシートはフルフラットシートにすることはできません。

4. サイドムービングシートの調整

■ヘッドレスト上下位置調整

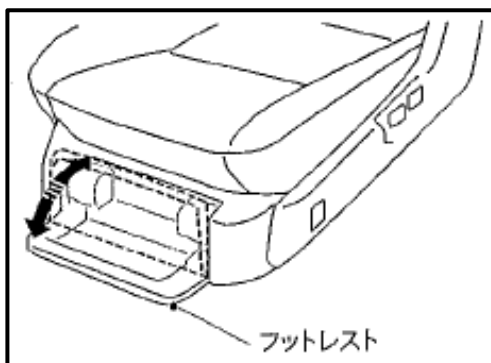


- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは、固定ボタンを押したまま引き抜きます。

⚠ 警 告

- ヘッドレストの高さについて
 - 必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。
- ヘッドレストについて
 - ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
 - ヘッドレストは正しい位置に調整してください。

■フットレスト



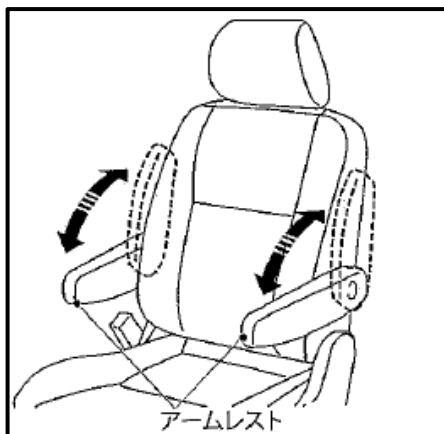
- 前に倒して使用します。
- 回転、昇降操作中は、サイドムービングシートに乗車される方の足を乗せてください。

⚠ 注 意

- フットレストを操作するときは
 - フットレストの先端部を持って操作してください。回転部の近くを持つと回転部で指をはさみ、けがをするおそれがあります。

4. サイドムービングシートの調整

■ アームレスト



- 前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。

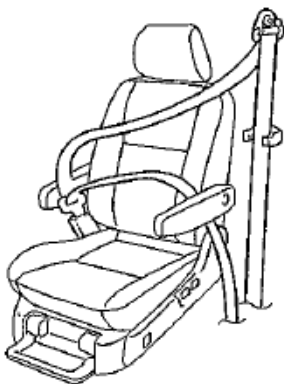
アドバイス

- アームレストに腰かけたり荷物をのせるなど大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

■ シートベルト

- 3点式のシートベルトです。使用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱説明書の『シートベルト』をご覧ください。

警告

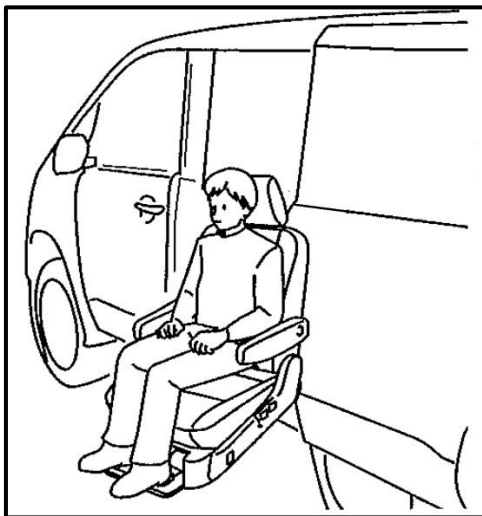


- シートベルトは、正しく装着しないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
なお、腰用のシートベルトは必ずアームレストの下を通して正しく着用してください。

アドバイス

- アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用在りになります。

5.正しい乗車姿勢



- 次のように正しい姿勢で乗車してください。
 - ・両膝をそろえてサイドムービングシートの内側に収まるように座ります。
 - ・両腕をサイドムービングシートのアームレストの内側に収まるようにします。
 - ・フットレストを下げ、両足をフットレストに乗せます。フットレストに足を乗せることができない場合は、足がサイドムービングシートと車体のあいだで挟まれないように介添えの方が支えてください。

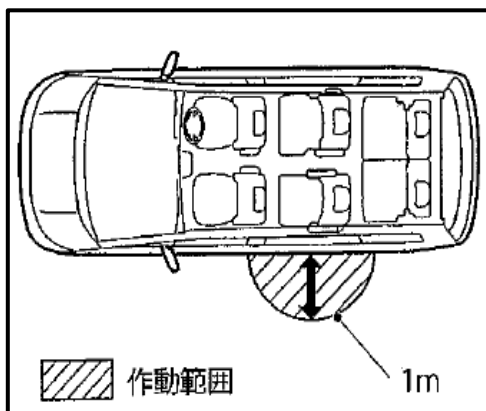
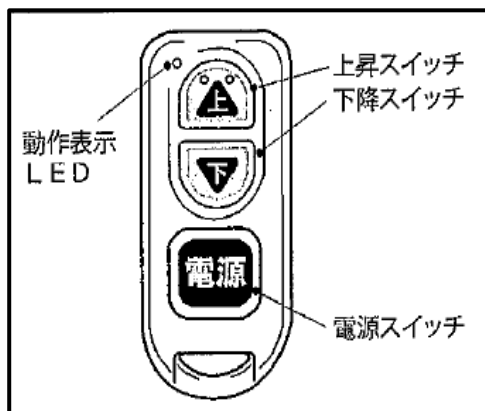
⚠ 警 告

●乗車のときは

- サイドムービングシートに深く着座できない方、膝や首が曲がらない方の場合は、足や頭が車体に当たり、座った状態でのサイドムービングシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。
- フットレストの上で立ち上がらないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- サイドムービングシート作動時、頭上や手足に注意してください。頭をスライドドア開口部にあてたり、膝や腕をトリムやドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

6. ワイヤレスリモコン

- ワイヤレスリモコンを使い、助手側スライドドアを開けた状態で約1m離れたところから、サイドムービングシートの昇降操作をすることができます。



アドバイス

●作動条件について

- ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能範囲が変わることがあります。
- 周囲の電波状況により、下降スイッチまたは上昇スイッチを押してもサイドムービングシートが一時的に停止する場合や、作動しなくなることがあります。
そのときは次のことを行ってください。
 - ・立つ位置をかえて操作する。その際は、スイッチを押し直してください。
 - 押し続けのまま立つ位置をかえてもサイドムービングシートは作動しません。
 - ・シートムービングスイッチで操作する (⇒ P.22)

●ワイヤレスリモコンについて

- ワイヤレスリモコンは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。
 - ・電池交換以外は、分解しないでください。分解・改造したものを使用することは法律上で禁止されています。
 - ・必ず日本国内でご使用ください。
- ワイヤレスリモコン送信機もしくは受信機を交換したときは、受信機のIDコードを登録する必要があります。登録手順の詳細につきましては、三菱自動車販売店までご連絡ください。

6. ワイヤレスリモコン



ア ド バ イ ス

● 電池について

- 電池寿命は約1年間です。(1回の操作時間を30秒、1日の操作回数を20回で計算した場合)ただし、電池寿命は実際の使用状況によってかわります。
- ワイヤレスリモコンを操作してもサイドムービングシートが作動しない場合や著しく作動可能距離が短くなった場合、または作動表示LEDが点灯しなくなったり、点滅しなくなった場合は電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。電池はお客様自身で交換できます (⇒P.40)

● 航空機に乗るときは

- 航空機にワイヤレスリモコンを持ち込む場合は、航空機内でワイヤレスリモコンのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をおよぼすおそれがあります。

警 告

● 電波がおよぼす影響について

- 医療用電気機器（以下を除く）を使用された場合は、電波による影響について医療電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

- ・植え込み型心臓ペースメーカー
- ・植え込み型除細動器

● ワイヤレスリモコンを使用するときは

- ワイヤレスリモコンの作動範囲は1mですが、安全に使用していただくため、以下のことを必ずお守りください。
 - ・乗員の体が見える位置で、乗員の頭・腕・足先など車体とはさまれないことを確認できる距離で操作してください。
 - ・シートまたは乗員の方に手を添えるなどして操作してください。
- ワイヤレスリモコンでサイドムービングシートを操作するときは、必ず平坦な場所でセレクトレバーを **P** の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけて、エンジンを切ってください。

⚠ 注 意

●故障を防ぐために

○ワイヤレスリモコンは電子部品です。故障の原因となりますので、以下のことをお守りください。

- ・ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- ・分解しないでください。
- ・落したり、踏むなどの強い衝撃をあてないでください。
- ・飲み物などをこぼしたり、水たまりなどの水中に落下させたりしないでください。

（防滴構造ですが、できるだけ水にぬらさないでください。）

○ワイヤレスリモコンの清掃にシンナー・ガソリン・ベンジンなど溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水またはぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってからふいてください。

7. サイドムービングシートの操作のしかた

■ サイドムービングシートを操作する前に

● サイドムービングシートを操作する前に以下のことを確認してください。

- 安全で平坦な場所に停車し、シフトポジションを **P** の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけて、エンジンを切ってください。
- サイドムービングシートの周囲及び作動範囲内に、人や自転車、また荷物などがいないことを確認してください。
- サイドムービングシートのシートベルトをはずしてください。
- サイドムービングシートを回転・昇降するときは、サイドムービングシートを次の状態に調整してください。
 - ・ヘッドレストをいちばん下げた位置にします。

● 助手席側2列目シートを回転・昇降させ、車外へ出すことができます。

● 操作はすべて介添えの方が行ってください。

● 格納後はサイドムービングシートを軽く左右にゆさぶり、サイドムービングシートが確実に格納されたことを確認してください。

ア ド バ イ ス

● ブザー音について

- 動作や状況に応じて次のようなブザーが鳴ります。

ブザー音		動作・状況
正常時	ピーツ	ワイヤレスリモコンまたはシートムービングスイッチを押してサイドムービングシートが作動するとき
	ピピツ	ワイヤレスリモコンまたはシートムービングスイッチを押してサイドムービングシートが完全に格納された状態、もしくは一番下まで下降したとき
異常時	ピピピピツ	サイドムービングシート回転中。障害物にあたるなどサイドムービングシートの作動がさまたげられたとき

7. サイドムービングシートの操作のしかた

■ サイドムービングシートを車外に出すときは

- 次の手順で操作を行ってください。

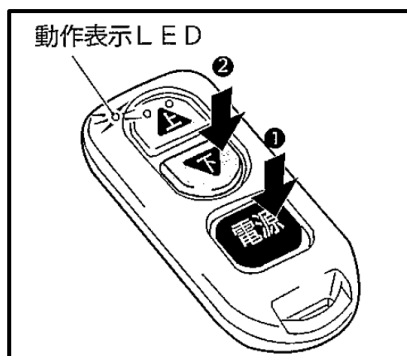
手順 1

助手席側スライドドアを全開にします。

手順 2

操作前に以下の状態であることを確認してください。

- ・サイドムービングシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること。
- ・サイドムービングシートに乗車している方が車両のシートベルトを着用していないこと。
- ・サイドムービングシート周りの同乗者が安全であること。



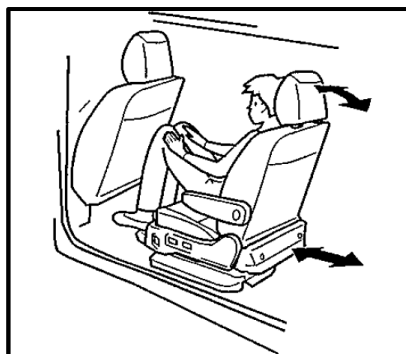
手順 3

ワイヤレスリモコンの電源スイッチ(①)を押し動作表示LEDが赤色点灯中(6秒以内)に下降スイッチ(②)押し続け、サイドムービングシートを回転・下降させます。



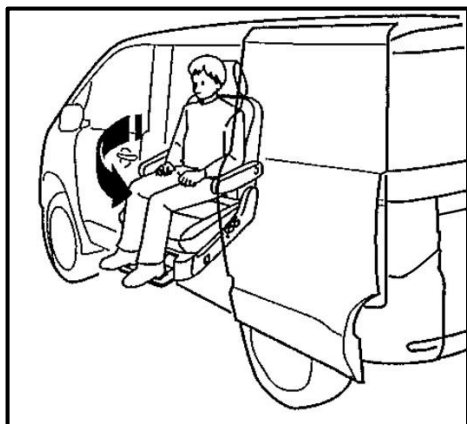
ア ド バ イ ス

- シートムービングスイッチで操作することも出来ます。
(⇒P.22)

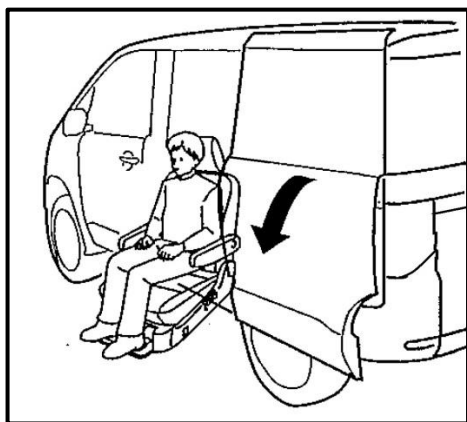


- ・“ピーツ”とブザーが鳴り、動作開始位置までサイドムービングシートが動きます。
- ・動作表示LEDが緑色に点滅します。

7. サイドムービングシートの操作のしかた



- ・サイドムービングシートが回転しながら車両前方に移動します。



- ・サイドムービングシートが車外へスライドし、下降します。

手順 4

いっぱいまで下降し、自動的に停止したらスイッチから手を離します。

⚠ 警 告

● サイドムービングシートを車外に出す前に

- 必ずムービングシート周りの同乗者の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに操作すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 必ず助手席側スライドドアを全開にしてください。全開にしないとサイドムービングシート操作時、サイドムービングシート乗車の方の手や足、および体がスライドドアと接触し、けがをすることがあります。また、サイドムービングシートやフットレストがドアトリム等に干渉し、損傷することがあります。

7. サイドムービングシートの操作のしかた



ア ド バ イ ス

● 作動条件について

○ 助手席側スライドドアが閉まっていると、下降スイッチを押してもサイドムービングシートは回転および下降しません。

● ワイヤレスリモコンについて

○ 電源スイッチを押してから6秒以内に下降スイッチまたは上昇スイッチを押さないと、自動的に電源が切れます。（動作表示LED消灯）下降スイッチまたは上昇スイッチを押すと、電源はスイッチから指を離れた時点より6秒延長します。

○ 下降スイッチまたは上昇スイッチを押し、“ピーツ”とブザーが鳴ってから作動します。

断続的にスイッチを押してもサイドムービングシートは作動しません。

○ サイドムービングシート作動中に下降スイッチまたは上昇スイッチから指を離すと、サイドムービングシートはその位置で停止します。

○ 複数のスイッチを同時に押すと、サイドムービングシートは作動しません。

● 作動について

○ サイドムービングシートが回転中、障害物にあたるなどサイドムービングシートの作動が妨げられると、“ピッピッピツ”とブザーが鳴り、サイドムービングシートは少し反転して停止します。この場合、乗車の方の手足などが車両にあたっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしたあと、ワイヤレスリモコンの電源を入れ、下降スイッチまたは上昇スイッチを押すと正常な作動に戻ります。

⚠ 注 意

● 故障や損傷を防ぐために

○ 断続的に下降スイッチまたは上昇スイッチを押さないでください。故障の原因になりますので、スイッチは押し続けてください。

○ スwitchの切りかえ操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切りかえを行うと、サイドムービングシートが故障するおそれがあります。

○ サイドムービングシートを車外に出したままで放置しないでください。特に炎天下・雨天・寒冷地などにおいて、カバー類の変形やモーターなどの凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

7. サイドムービングシートの操作のしかた

■ サイドムービングシートを車内にもどすときは

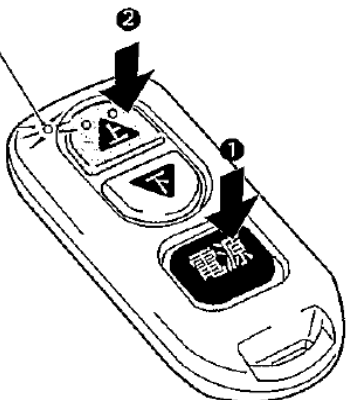
- 次の手順で操作を行ってください。

手順 1

操作前に以下の状態であることを確認してください。

- ・助手席側スライドドアが全開になっていること。
- ・サイドムービングシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること。
- ・サイドムービングシート周りの同乗者が安全であること。

動作表示LED



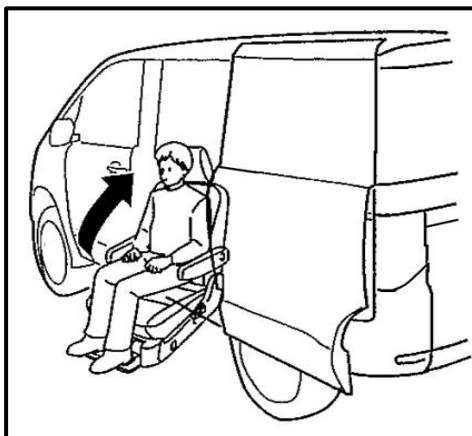
手順 2

ワイヤレスリモコンの電源スイッチ(①)を押し動作表示LEDが赤色点灯中(6秒以内)に上昇スイッチ(②)押し続け、サイドムービングシートを上昇・回転させます。



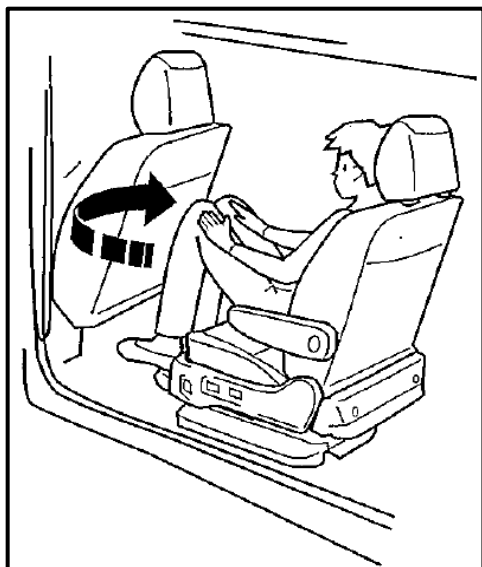
ア ド バ イ ス

- シートムービングスイッチで操作することもできます。
(⇒P.22)



- ・"ピーッ"とブザーが鳴り、サイドムービングシートが上昇し、車内へスライドします。
- ・動作表示LEDが緑色に点滅します。

7. サイドムービングシートの操作のしかた



・サイドムービングシートが車両後方に移動しながら回転します。

手順 3

いっぱいまで回転し、自動的に停止し（完全に格納された状態）、“ピピッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから指を離します。

手順 4

必要に応じてサイドムービングシートの調整を行い、走行前に必ずシートベルトを着用してください。

（⇒P.8～10）

手順 5

助手席側スライドドアを閉めます。

⚠ 警 告

● サイドムービングシートを車内にもどす前に

○必ず助手席側3列目シートの同乗者やサイドムービングシート周りの同乗者の安全を確認してください。
サイドムービングシートを車内にもどしたとき、サイドムービングシートの機構部に手や足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

○必ず助手席側スライドドアが全開になっていることを確認してください。

全開になっていないとサイドムービングシート操作時、サイドムービングシート乗車の方の手や足、および体がスライドドアと接触し、けがをするおそれがあります。また、サイドムービングシートやフットレストがドアトリム等に干渉し、損傷するおそれがあります。

7. サイドムービングシートの操作のしかた

⚠ 警 告

● サイドムービングシートを車内に格納したときは

○ “ピピッ”とブザーが鳴ったことを確認し、さらにサイドムービングシートをゆさぶり、確実に格納されていることを確認してください。

確実に格納されていないと、走行中にサイドムービングが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



7. サイドムービングシートの操作のしかた

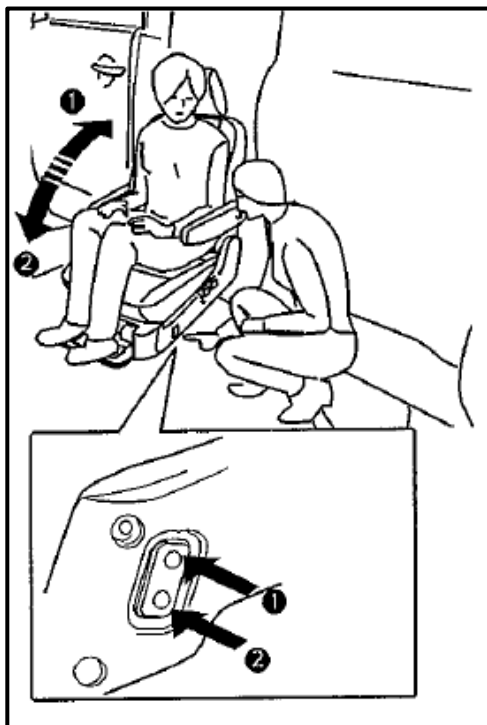
■ シートムービングスイッチによる操作のしかた

ワイヤレスリモコンが電池切れ、故障および紛失などにより使用できないときは、シートムービングスイッチを使用してサイドムービングシートの回転および昇降操作を行ってください。

(サイドムービングシートの作動は、ワイヤレスリモコンで操作した場合と同じです。)

手順 1

助手席側スライドドアを全開にします。



手順 2

シートムービングスイッチの上側または下側を押し続けると、“ピーッ”とブザーが鳴りサイドムービングシートが作動します。

① 上昇・回転します

② 回転・下降します

・スイッチを押しているあいだ、サイドムービングシートが作動します。

・スイッチから指を離すと、サイドムービングシートはその位置で停止します。



ア ド バ イ ス

- サイドムービングシートを車内にもどすときは、自動的に停止（完全に格納）し、“ビビッ”とブザーが鳴ってから、スイッチから手を離してください。

手順 3

サイドムービングシートが自動的に停止したらスイッチから指を離します。



ア ド バ イ ス

- 故障をふせぐために

○ 断続的にスイッチを押さないでください。故障の原因になりますので、スイッチはそのまま押し続けてください。

8.車いすの収納のしかた

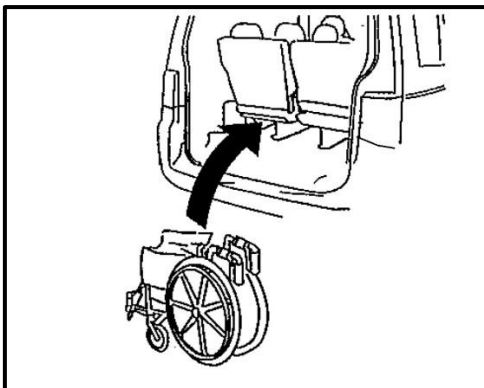
- 車いすを収納する場合は、次の手順で行ってください。

手順 1

テールゲートを全開にします。

手順 2

車いすを収納するため、サードシートのスライドを最後端より前方へ1 ノッチ以上移動させ、背もたれの角度を起こし、車いすが収納できる状態にします。



アドバイス

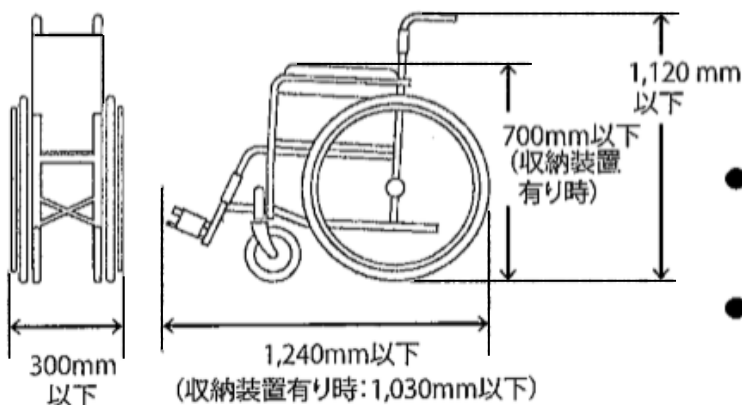
- サードシートは車いすのサイズに合わせて調整してください。
- サードシートは標準車の取扱説明書に準じて調整してください。

手順 3

車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。
このとき車いすのブレーキをかけてください。

■荷室に収納が可能な車いすのサイズの目安（7名乗車時）

- 下表のサイズの車いすが荷室に収納可能です。ご使用する**車いすのサイズ**を確認してください。



- ステップやグリップ等、各部を折り畳んだ状態での寸法となっております。
- 寸法条件を満たしている場合でも、形状によっては搭載できない車いすがあります。

9.車いす固定ベルト

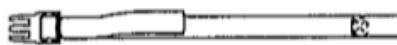
- 車いす固定ベルトはサイドムービングシート仕様車に標準で装備されています。

車いすを固定する時に使用する部品

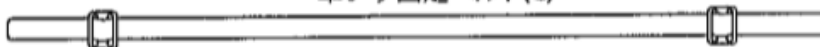
車いす固定ベルト(A)



車いす固定ベルト(B)

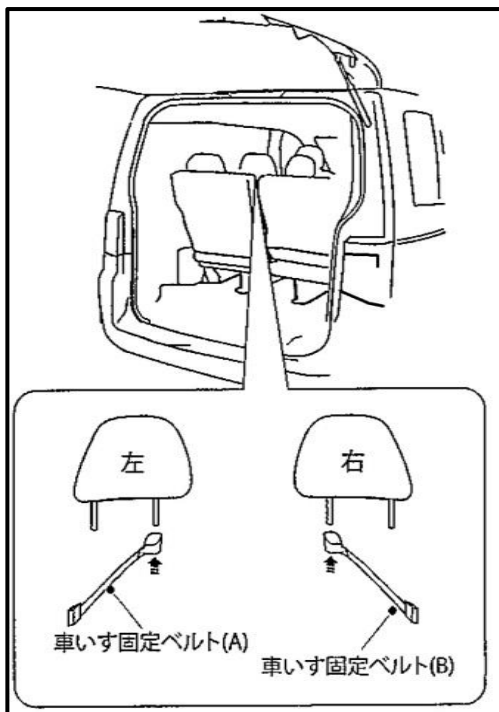


車いす固定ベルト(C)



■車いす固定ベルトの取り付けかた

- 車いす固定ベルトはあらかじめ装着されていますが、取り外された場合は、次の手順で取り付けしてください。

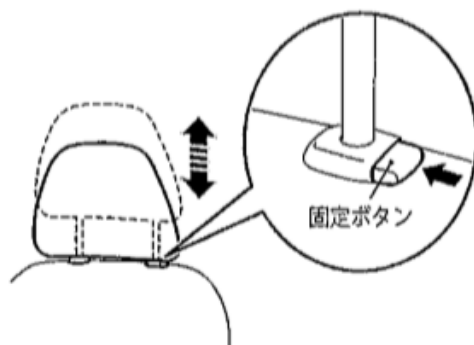


手順 1

サードシートの左右ヘッドレストをシートから外し、図のようにベルトを取り付けます。

アドバイス

●ヘッドレストの外し方

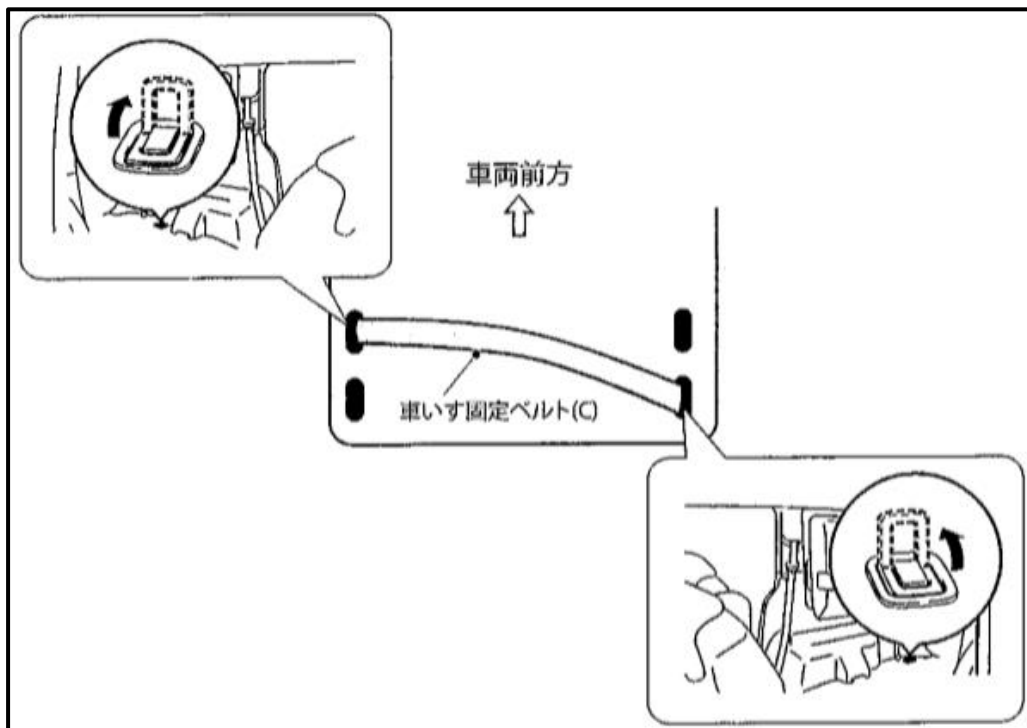


9.車いす固定ベルト

手順 2

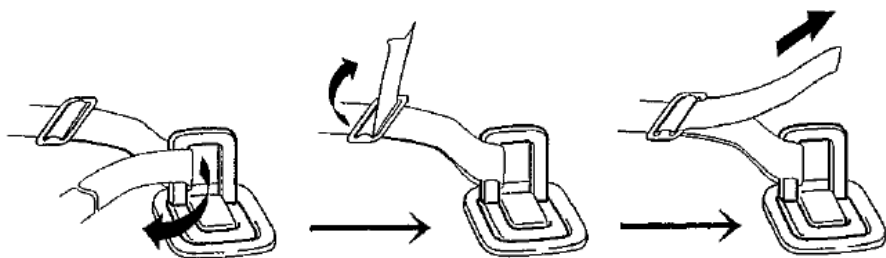
ラゲッジルーム内の左右ラゲッジフックを起こし、車いす固定ベルト(C)を取付けます。

(図の位置のラゲッジフックを使用してください。)



📖 アドバイス

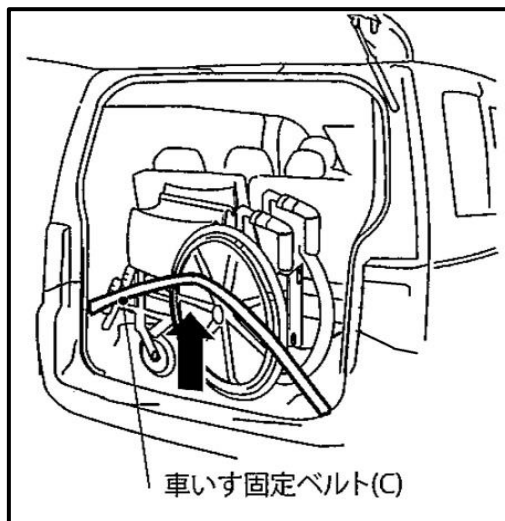
● 車いす固定ベルト(C)の通し方



9.車いす固定ベルト

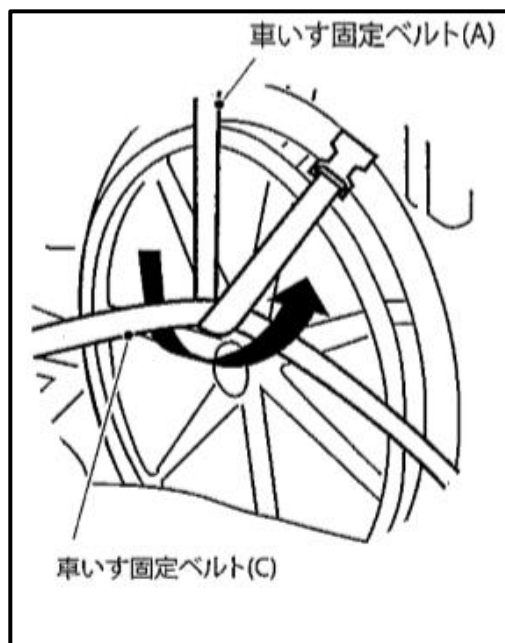
■車いすの固定のしかた

- 車いすを固定する場合は、次の手順で行ってください。



手順 1

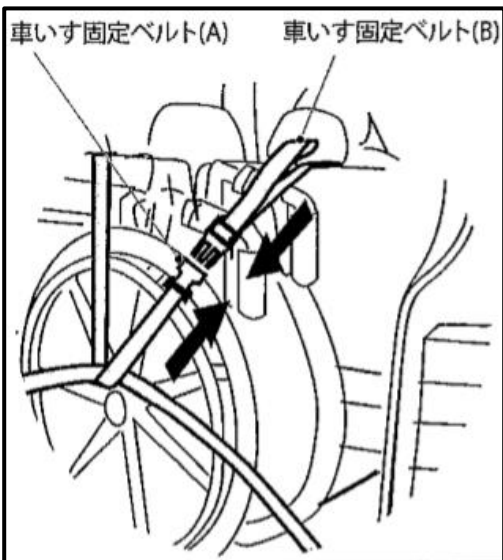
車いす固定ベルト(C)が車いすのほぼ中心にくるように持ち上げます。



手順 2

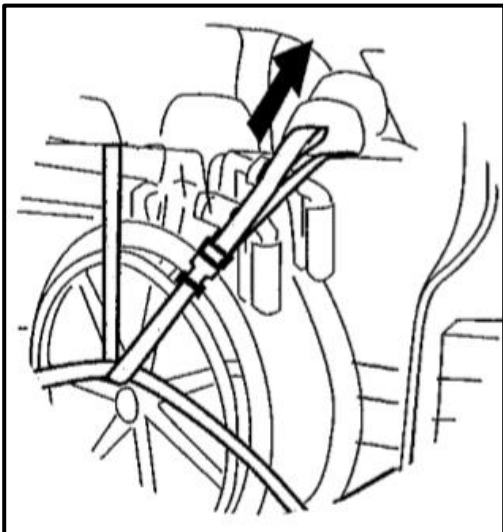
図のように車いす固定ベルト(A)を車いす固定ベルト(C)に通します。

9.車いす固定ベルト



手順 3

車いす固定ベルト(B)と車いす固定ベルト(A)のバックルを“カチッ”と音がするまで押し込みロックします。



手順 4

車いす固定ベルト(B)の先端を引っ張り、ベルトのたるみをなくし車いすを固定します。

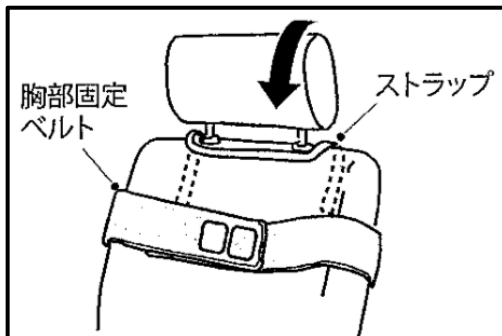
手順 5

車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認します。

10. 架装オプション

■ 胸部固定ベルト

- 胸部固定ベルトはムービングシートに着座しているときに、上半身を固定するために使用します。



取り付け方

図のようにマジックファスナー部を前側にして、ストラップがヘッドレストの支柱に引っかかるように取り付けます。

⚠ 警告

- 胸部固定ベルトは、シートベルトではありません。走行中は必ずシートベルトを着用してください。



着用の仕方

胸部固定ベルトを胸部に密着させ、マジックファスナーでしっかり止めます。

📖 アドバイス

- シートベルトは、胸部固定ベルトをしたままでも着用できます。

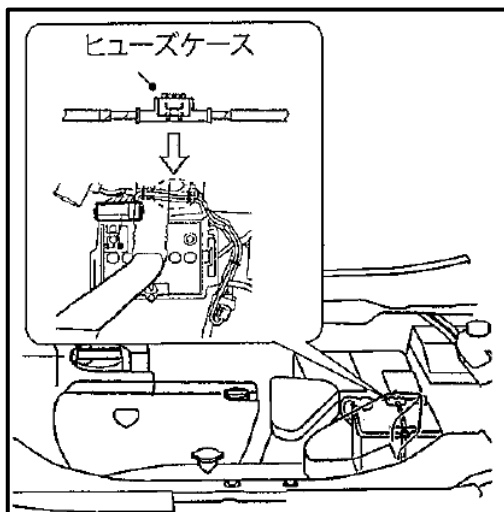
11.点検・整備

■ヒューズの交換

- サイドムービングシートのスイッチを操作しても、サイドムービングシートが動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ（車両側）

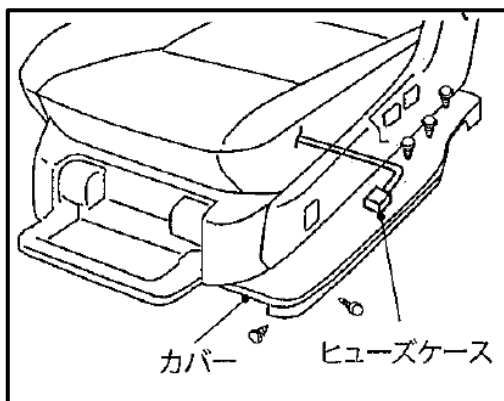


- エンジンルーム内バッテリー奥側のハーネスにヒューズケースがあります。

ヒューズ容量

30A

ヒューズ（サイドムービングシート側）



- サイドムービングシート左側下部カバー内にヒューズケースがあります。
- ヒューズを点検・交換するときは、クリップ5本を取り、カバーをはずします。

ヒューズ容量

20A、30A



ア ド バ イ ス

●ヒューズを交換したあとは

○次の場合は三菱自動車販売店で点検を受けてください。

- ・交換しても再びヒューズが切れるとき
- ・交換してもサイドムービングシートが動かないとき



警 告

●車の故障や火災を防ぐために

○次のことをお守りください。お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- ・規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- ・必ず三菱純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ・ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

■定期点検整備

●サイドムービングシートの故障を減らして長く大切にお使いいただくために定期点検整備をお願いします。

点検結果を記録する際には、巻末の記録簿をA4サイズにコピーして使用してください。

サイドムービングシート 点検整備項目	点検時期			交換時期 (年)	備考
	日常点検	自家用車			
		12か月ごと	24か月ごと		
●各スイッチの作動状態 ・シートムービングスイッチ ・シートスライドスイッチ ・リクライニングスイッチ	○ ○ ○	○ ○ ○			引っかかり、異音がないこと
●格納、下降後のロック状態		○			

12.万一のとき

■故障かな？とお考えになる前に（サイドムービングシート）

- 故障かな？とお考えになる前に、次のことを確認してください。

ワイヤレスリモコンについては、39ページを確認してください。

症状	原因	対処方法
サイドムービングシートの回転・昇降操作ができない	助手席側スライドドアが閉まっている	助手席側スライドドアを開けてください
サイドムービングシートが少し反転して停止した	サイドムービングシートが障害物にあたった (安全のため、障害物にあたるなど回転中にサイドムービングシートの動作がさまたげられると、サイドムービングシートは少し反転して停止します。)	障害物を取り除くなどしたあと、『ワイヤレスリモコンの電源を入れ、上昇スイッチまたは下降スイッチ』もしくは『シートムービングスイッチの上側または下側』を押し続けると、正常な作動にもどります
サイドムービングシートの前後位置・リクライニング調整ができない	サイドムービングシートが車内に完全に格納されていない状態(回転・昇降途中)で調整しようとした	『ワイヤレスリモコンの電源を入れ、上昇スイッチ』もしくは『シートムービングスイッチの上側』を押し続け、サイドムービングシートが自動的に停止し、“ピピッ”とブザーが鳴ってから操作してください
サイドムービングシートが動かない	スイッチを断続的に押した	スイッチを押し続けてください
	ヒューズが切れている	サイドムービングシート左側下部もしくはエンジンルーム内のヒューズを点検し、切れている場合は規定容量のヒューズと交換してください

- 上記の状態を確認しても動かない場合は故障であると考えられます。

次の処理をして、すみやかに三菱自動車販売店で点検を受けてください。

○車内に入った状態で動かない場合

- ・そのまま三菱自動車販売店で点検を受けてください。

○車外に出た状態で動かない場合

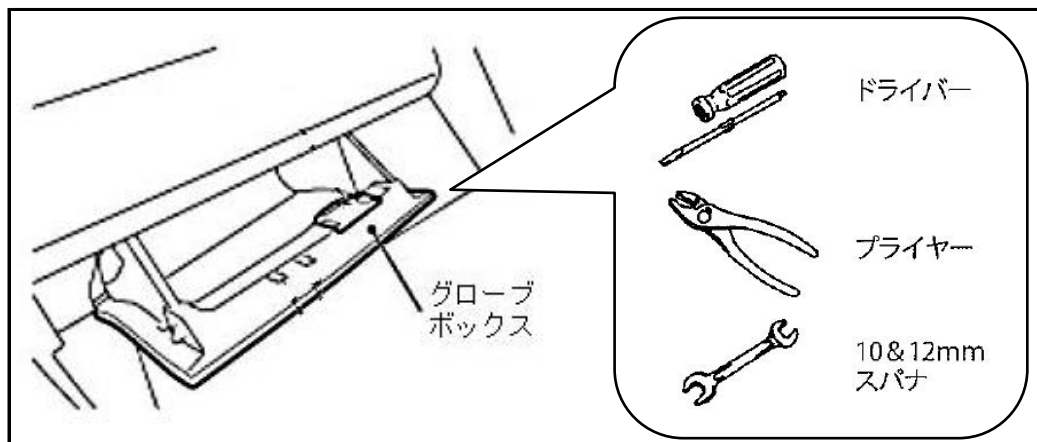
- ・以降の要領でサイドムービングシートを車内にもどし、そのまま三菱自動車販売店で点検を受けてください。

■サイドムービングシートが車外に出た状態で動かないとき

- スイッチを押してもサイドムービングシートが動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。
ヒューズを点検・交換しても動かない場合は、三菱自動車販売店で点検を受けてください。
- 万一、サイドムービングシートが回転または昇降途中で動かなくなってしまったときは、助手席側スライドドアを閉めることができません。P.35に記載されている要領で車内に格納してください。
- サイドムービングシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させてから作業を行ってください。

■工具

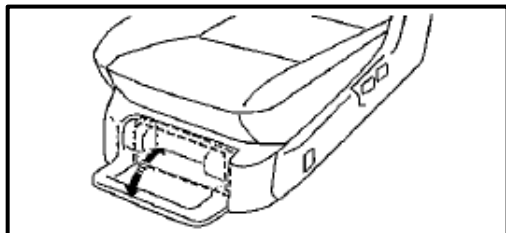
- サイドムービングシートを手動で車内にもどすとき、以下の工具が必要となります。工具は助手席のグローブボックスに収納されています。



12.万一のとき

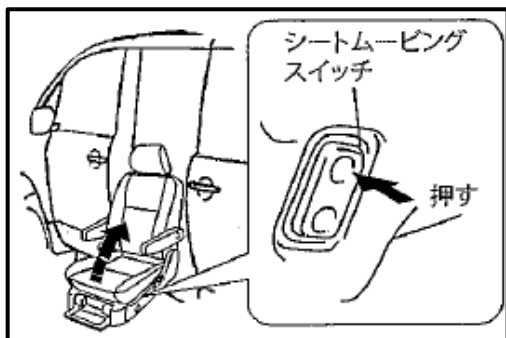
■スイッチを押すと、サイドムービングシートが動くとき

- サイドムービングシートが格納位置以外で、バッテリーやヒューズを外して再接続したときや、ムービングシート作動中にエンジンをかけたときは、正常に作動しくなりますので、次の手順で格納操作を行ってください。



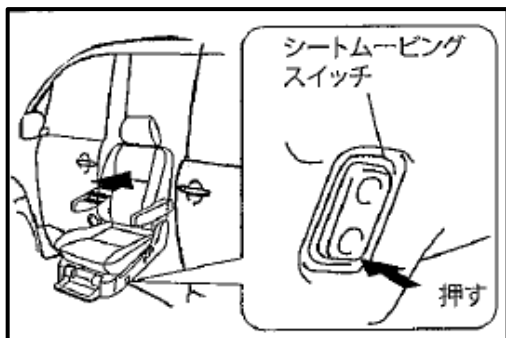
手順 1

フットレストを折りたたんだ状態にします。



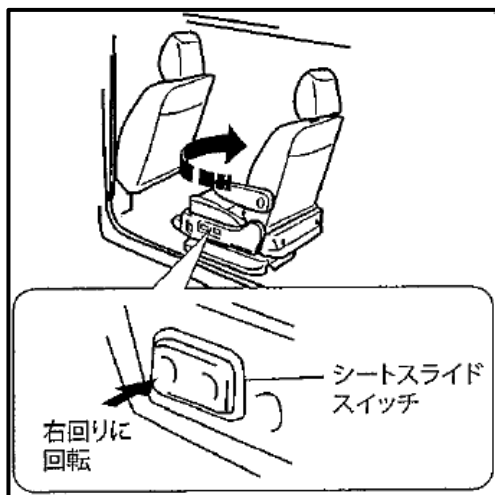
手順 2

シートムービングスイッチの上側を押し続けて、サイドムービングシートが自動的に止まるまで上昇させます。



手順 3

シートムービングスイッチの下側を押し続けて、サイドムービングシートが自動的に止まるまで車内へスライドさせます。

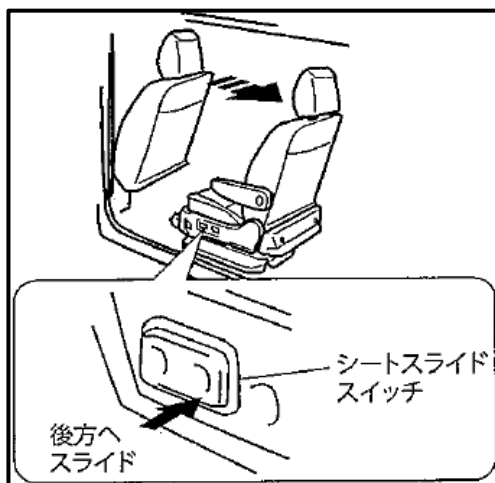


手順 4（回転の操作）

シートスライドスイッチの前側を押してサイドムービングシートを車内側へ回転させます。

アドバイス

- シートスライドスイッチの前側と同時にシートムービングスイッチの上側を押すと、サイドムービングシートの作動は逆（車外へ回転）となります。



手順 5（スライドの操作）

シートスライドスイッチの後側を押してサイドムービングシートを後方へスライドさせます。

アドバイス

- シートスライドスイッチの後側と同時にシートムービングスイッチの上側を押すと、サイドムービングシートの作動は（前方へスライド）となります。

手順 6

サイドムービングシートが車体にぶつからないよう確認しながら、回転の操作（手順 4）、スライドの操作（手順 5）を交互にくり返し、サイドムービングシートを格納位置へ戻します。

アドバイス

- サイドムービングシートが格納位置に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

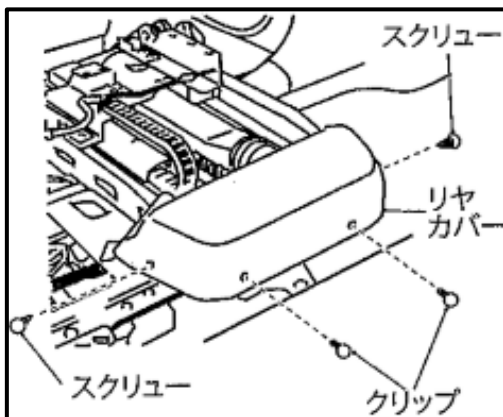
12.万一のとき

- スイッチを押すとブザーは鳴るがサイドムービングが動かないとき
(かすかに動く場合もあります)



注 意

- シートを手動操作している間はシート格納スペースに手や足を入れないでください。シートの可動部で手や足をはさみ、けがをするおそれがあります。
- サイドムービングシートが昇降途中で動かなくなったときは、次の手順で操作してください。



手順 1

エンジンルーム内のヒューズ（車両側）を外します。
(⇒P.29)

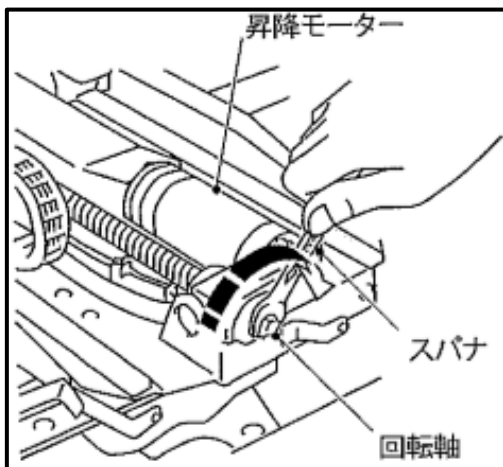
手順 2

リヤカバーのクリップ 2 本・スクリュー 2 本をはずし、
リヤカバーをはずします。



ア ド バ イ ス

- 取り外した部品は袋に入れるなどして、紛失しないように注意してください。組み付け時に必要になります。



手順 3

昇降モーター先端より突出した回転軸をスパナで
回らなくなるまで回します。

- ・回転軸を右に回すとサイドムービングシートが上
昇します。

手順 4

エンジンルーム内のヒューズ（車側）を取り付けま
す。

手順 5

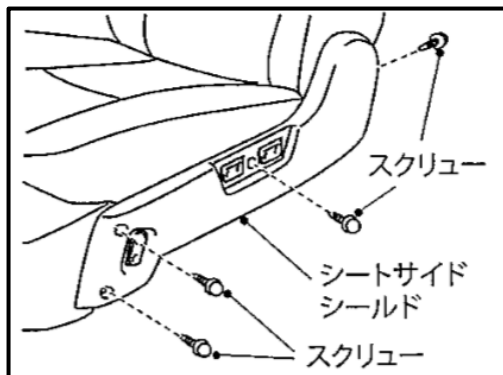
フットレストを折りたたんだ状態でサイドムービングシートが車体にぶつからないように確認しながら、回転の操作、スライドの操作を交互に繰り返し、サイドムービングシートを格納位置へ戻します
(⇒P.34)



ア ド バ イ ス

- サイドムービングシートが格納位置に戻ると“ピッ”とブザーが鳴ります。

●サイドムービングシートが外側スライド途中で動かなくなったときは、次の手順で操作してください。



手順 1

エンジンルーム内のヒューズ（車両側）を外します。
(⇒P.29)

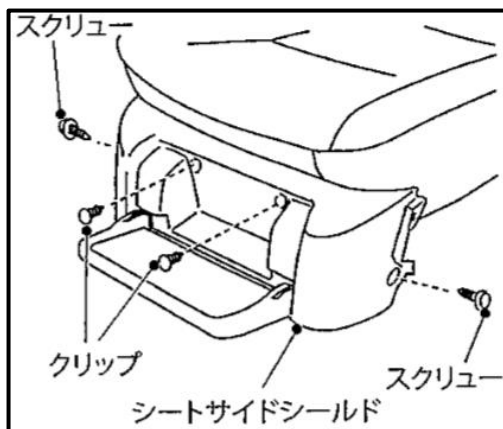
手順 2

シートサイドシールドのスクリュー 4 本を外し、シールドを外します。（左右合計8本）



ア ド バ イ ス

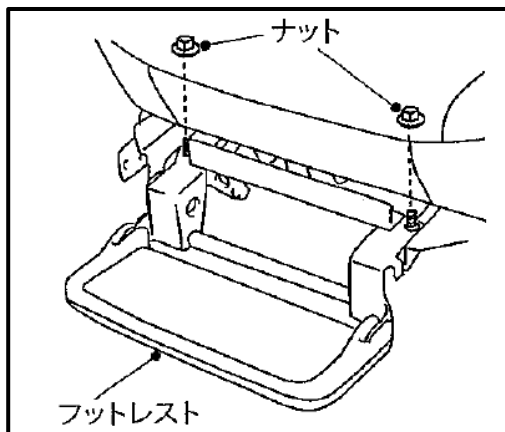
- 取り外した部品は袋に入れるなどして、紛失しないように注意してください。組みつけ時に必要となります。



手順 3

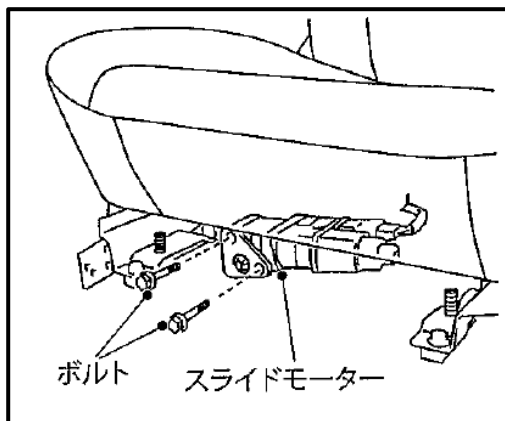
シートサイドシールドのスクリュー2本、クリップ2本を外し、シートサイドシールドを外します。

12.万ーのとき



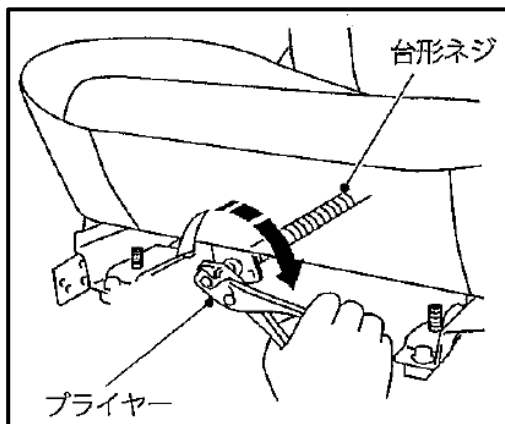
手順4

ナット2本をスパナで外し、フットレストを外します。



手順5

ボルト2本をスパナで外し、スライドモーターを抜き取ります。



手順6

スライド用台形ネジ先端をプライヤーで回らなくなるまで回します。

・台形ネジを右に回すとサイドムービングシートがスライドします。

手順7

エンジンルーム内のヒューズ（車両側）を取り付けます。

手順 8

フットレストを折りたたんだ状態でサイドムービングシートを車体にぶつからないよう確認しながら、回転の操作、スライドの操作を交互にくり返し、サイドムービングシートを格納位置へ戻します。

(⇒P.34)



ア ド バ イ ス

- サイドムービングシートが格納位置に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。

- サイドムービングシートが回転・スライド途中で動かなくなったときは、三菱自動車販売店へご連絡ください。
- スイッチを押してもブザーが鳴らず、サイドムービングシートも動かないとき
- 三菱自動車販売店へご連絡ください。

12.万一のとき

■故障かな？とお考えになる前に（ワイヤレスリモコン）

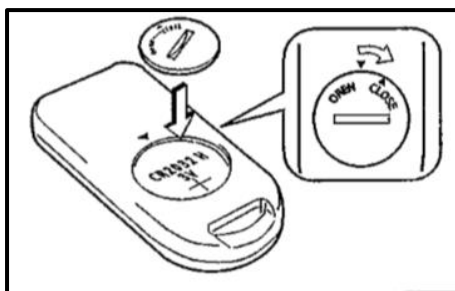
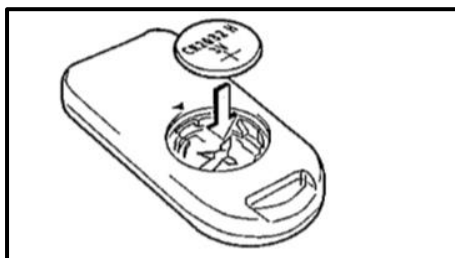
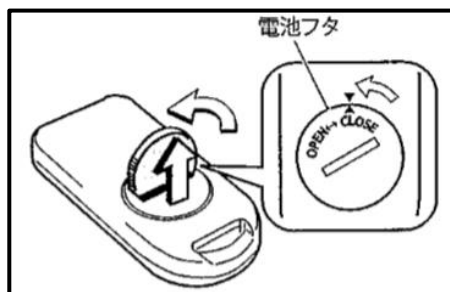
●故障かな？とお考えになる前に、次のことを確認してください。

症状	原因	対処方法
サイドムービングシートが動かない （車外から操作した場合）	車両から離れすぎている	車両に近づいて操作してください。 （作動可能範囲は、サイドムービングシートから約1mです）
	周囲の電波状況により、下降スイッチまたは上昇スイッチを押してもサイドムービングが作動しなくなることがあります	次のことを行ってください ・立つ位置をかえ、スイッチを押し直す ・シートムービングスイッチで操作する
スイッチを押してもサイドムービングシートが作動しない	電池切れの可能性があります	電池を交換してください
著しく作動可能距離が短くなった 動作表示LEDが点灯・点滅しなくなった		
サイドムービングシートが動かない	電源スイッチを押してから6秒以内 （動作表示LEDが赤色点灯中） に下降スイッチまたは上昇スイッチを押していない	6秒以内にスイッチを押してください。 （6秒以内に押さないと自動的に電源が切れます）
	断続的にスイッチを押した	断続的にスイッチを押してもサイドムービングシートは作動しません。

●上記のことを確認しても動かない場合は故障であると考えられます。すみやかに三菱自動車販売店で点検を受けてください。修理が完了するまでは、シートムービングスイッチで操作してください。

（⇒P.22）

■ワイヤレスリモコンの電池交換



手順 1

電池フタをはずします。

コインなどを電池フタの溝に挿し込み▲マークが合う位置までOPEN側にまわし、電池フタをはずします。

手順 2

電池を交換します。

電池を取り出し、新しい電池の+側を上（電池フタ側）にして挿入します。

使用電池

リチウム電池CR2032

手順 3

電池フタをはめます。

電池フタと送信機の▲マークを合わせてはめます。コインなどを電池のフタ溝に挿し込みCLOSE側にまわし、電池フタを締め込みます。

手順 4

動作を確認します。

電源スイッチを押し、動作表示LEDが赤色点滅中（6秒以内）に下降スイッチまたは上昇スイッチを押して、動作表示LEDが緑色点滅することを確認します。

📖 アドバイス

●リチウム電池CR2032の入手方法

○電池は三菱自動車販売店、家電量販店、ホームセンターなどで購入できます。

12.万一のとき

警 告

- 取り外した部品や電池について

- お子様にさわらないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

注 意

- 交換後、正常に機能させるために

- 次のことをお守りください。

- ・ 電池交換時に部品を紛失しないでください。
- ・ 電池フタを曲げたりしないでください。
- ・ 電池以外の部品にふれたり、動かしたりしないでください。
- ・ 電池の＋極と－極は必ず正しい向きに挿入してください。
- ・ 電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油などを付着させないでください。

■シート地・胸部固定ベルト

- 汚れを取るときはガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽くふき取ります。次に真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいに拭き取ります。水分をよく拭き取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

注 意

- ベンジン、ガソリン、およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびムービングシートの損傷原因となります。
また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認の上、使用してください。

アドバイス

- 水、ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

■樹脂カバー

- 通常やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めてやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。次に水にひたした布を固くしぼってふき取り、乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

三菱福祉車両

HeartyRun

ハーティランシリーズ

- よくお読みになって、ご使用して下さい。
- 取扱説明書は車の中に保管しましょう。
- 車両の仕様等の変更により、本書の内容が車両と一致しない場合がありますので予めご了承下さい。
- お問合せは、お近くの三菱自動車販売店にお尋ねください。

架装メーカー

三菱自動車ロジテクノ株式会社
特装事業部

この取扱説明書の内容は2019年5月現在のもので、
仕様及び装備は予告なく変更することがあります。